

(6) 前年度の見直しを図ったシラバス

シラバスは、実際に使用しながら、改善を加えることによって、より使いやすく、より活用されるものになっていきます。高等学校におけるシラバスの作成と活用は、まだ始まったばかりです。従って、取組の当初数年間は、継続的な見直しを行うことが大切です。

ポイント12

シラバスは実践を通して、改善を加えることによって、より効果的に活用されるようになります。

次の例は、同一校における平成15年度と16年度の国語科のシラバスを比較したものです。記入様式を縦書きから横書きに変更したり、到達度の自己評価欄を自由記述欄からA B Cのチェック欄に変更したりするなど、新たな工夫が加えられています。

平成15年度

2 学 期	学 期
10	9
2 学期中間考査	考 査
(1) まとまった長さの漢文訓読に習熟する。 (2) 戦国時代の歴史的背景を理解し、乱世に生きる人々の生き方や考え方を理解する。	
▼学習のポイント 子猷尋戴 死諸葛走生仲達 『世説新語』 『十八史略』	漢文(1単位相当) 故事と史話 鶏鳴狗盗 『十八史略』
学習する教材 学習の内容と到達度目標 備考 自己評価 到達度	

平成16年度

期 分	学習する教材	学習する内容	自己評価
間 野	単元・教材	学習のねらいと学習到達度評価項目	
第2学期 中間考査	漢文 漁父辞 屈平	漁父辞 (1) 便覧を使い、屈原、「楚辞」や、戦国時代の概要を知る。 (2) 脚注を参考にしてあらすじをまとめることができる。 (3) 対句に注意して、屈原と漁父との主張を段落ごとに整理できる。 (4) 屈原(儒家)と漁父(道家)と	A B C ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学期 自己評価 中間考査 反省	学習への取組について(自己評価) (1) 本文の書写、 語句の意味調べ、 現代語訳、準拠 学習課題ノート、 書き下し文(漢文)等	A B C ☐ ☐ ☐	試験結果と反省 得点 平均点 教科担当者 印